富士見市立ふじみ野交流センター

令和７年度事業報告



は　じ　め　に

ふじみ野交流センターは、市民交流と生涯学習の推進を図ることを目的に、平成１４年６月に開館しました。以来、地域の皆さまに支えていただきながら、地域の活動拠点として、運営を行ってきました。

また、当センターは、図書館ふじみ野分館及びふじみ野保育園を併設する複合施設として、図書館に来館される方の学びの場であると同時に、保育園から子どもたちの元気な声が響きわたる活気のある施設です。

さて、令和７年度における当センターの生涯学習事業では、ライフステージに応じた学習交流機会を目的とした事業や、市民参加・住民交流の充実を目的とした事業など、さまざまな事業を実施しました。

子どもたちのふるさとづくりと地域住民の交流を目的とした「勝瀬ｄｅ縁日」では、たくさんの笑顔が集まりました。当センター利用者の活動成果を発表する「ふじみ野文化祭」では、ふじみ野文化に花が咲きました。勝瀬地域の伝統文化を学び・体験する事業では、地域に対する親しみを深めていただくことができました。年間をとおして共に学ぶ「ふじみ野じゅく」では、多くの皆さまに参加していただきました。このほかにも、「食文化講座」、「趣味・芸能講座」、「音楽でいい友」など、事業の実施にあたっては、講師の皆さまをはじめ、地域の皆さまに、多大なるご理解とご協力をいただきました。心より感謝を申し上げます。

今後におきましても、これまで当センターに携わっていただいた皆さまの想いを引き継ぎながら、未来に向け、“笑顔あふれる ふじみ野交流センター”にしていきたいと考えていますので、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和８年９月

富士見市立ふじみ野交流センター所長

目　　次

１　施設の利用状況 ---------- ３

２　施設の維持管理状況 ---------- ４

３　生涯学習事業の概要 ---------- ５

４　事業別概要 ---------- ６

５　付録　ふじみ野交流センター利用案内 ---------- 19

1　施設の利用状況

施　設　名	令和７年度(開館 345 日)			令和６年度(開館 344 日)		
	利用件数(件)	利用者数(人)	利用率(%)	利用件数(件)	利用者数(人)	利用率(%)
多目的ホール	771	14,756	81.4	731	14,470	76.8
視聴覚室	597	4,942	61.2	606	4,431	62.8
集会室１	393	4,663	43.9	352	3,765	39.3
集会室２	352	3,103	40.8	360	2,842	40.9
和室	234	1,022	26.8	175	976	20.3
美術工芸室	216	2,056	24.4	229	2,152	24.2
講座室	409	4,495	45.3	413	4,859	45.1
調理室	197	2,165	28.8	178	1,829	26.7
合　　計	3,169	37,202	44.1	3,044	35,324	42.0
使用料【歳入】	2,150,700 円			1,881,000 円		

施設提供の概要

令和２年からのキャッシュレス決済の導入により、電子マネーやクレジットカードによる使用料の支払いが徐々に増えている。

令和７年１月からは、公共施設予約システムが更新され、オンラインクレジットによる使用料の納入が可能になるなど、利便性も高まっている。今後も、施設利用の PR に努め、利用増進を図っていく。

２　施設の維持管理状況

（1）生涯学習施設の使用料収入の推移

令和５年度　　２，００３，９００円
令和６年度　　１，８８１，０００円
令和７年度　　２，１５０，７００円

（2）維持管理費　　単位：円

内　　容		令和７年度	令和６年度
委託	警備業務委託	117,480	117,480
	建築物定期検査委託	96,800	217,800
	エレベーター保守点検委託	660,000	660,000
	自動ドア保守点検委託	475,200	404,800
	樹木維持管理委託	26,400	26,400
	施設管理業務委託	15,538,049	14,720,433
	清掃業務委託	7,000,400	6,999,300
	設備保守点検委託	1,958,000	1,826,000
	廃棄物収集運搬処理業務委託	49,500	49,500
修繕	エアコン高性能フィルタ交換修繕など	1,634,836	3,802,480
光熱水費		9,668,538	10,117,440
その他（事務機器使用料、用地借地料など）		5,609,923	5,835,543

施設の維持管理においては、設置経過年数に応じて生じた設備の不具合や機器の改修をすることができた。今後も、利便性の向上と利用者の安全確保に努めていきたい。

なお、施設設備等の保守については、ピアザふじみや鶴瀬西交流センターと連携して業務委託を行い、事務の効率化を図っている。また、委託料、光熱水費等は、併設施設であるふじみ野保育園、図書館ふじみ野分館を含む経費となっている。

３　生涯学習事業の概要

多世代に向けた文化教養の学習の場とした通年事業や住民交流をねらいとした様々なイベントを例年行っている。

目標	項目	講座名・内容	回数(回)	募集人数（人）	参加人数（人）	報償費(円)
ライフステージに応じた学習交流機会の提供	成人対象事業	自分で作るお正月飾り				
		・アートフラワーのお正月飾り	1	10	10	10,000
		・わらのお正月飾り	1	15	15	10,000
		門松飾りの設置	1	―	―	12,247
		食文化講座「食べていい友」	4	各12程度	55	35,000
		趣味・芸能講座				
		・講談会	2	各100	206	70,000
		・浪曲	1	100	111	60,000
		音楽でいい友(コンサート)	3	各100	220	80,000
	青少年対象事業	勝瀬の七夕まつり				
		・キッズキッチン	2	各16	31	15,000
		・ネックレスとチャームづくり	1	24	25	5,000
		・親子でうどんづくり	1	12組	12組	5,000
		・マジックショー	1	120	107	5,000
		小学生お菓子づくり教室	2	各20	42	10,000
市民参画・住民交流の充実	地域交流事業	ふじみ野じゅく	11	各40	340	66,000
		勝瀬の七夕笹飾り、十五夜・十三夜飾り、小正月飾りの展示	4	―	―	20,000
		グリーンボランティア	通年	―	6	12,000
	市民協働イベント開催事業	第27回勝瀬ｄｅ縁日	1	―	約1,000	0
		第24回ふじみ野文化祭	1	―	約1,200	0

広報紙の発行

「ふじみ野エクスプレス」Ａ４版両面刷、20,005部、鶴瀬公民館だよりに挟み込み年１０回発行

４　事業別概要

生涯学習事業・成人対象事業

自分で作るお正月飾り

開催日時

①アートフラワーのお正月飾り　令和７年１２月１７日（水）午前 10 時～12 時
②わらのお正月飾り　令和７年１２月２５日（木）午後１時３０分～３時
③門松飾りの設置　　令和７年１２月２５日（木）～令和８年１月７日（水）

対象及び参加者数

対象：成人
参加人数：①１０人　②１５人　③展示のみ

事業概要

伝統文化であるお正月飾りの伝統的技法を習得するとともに、アートフラワーなど、新しい手法も学びながら、その文化的意義を学ぶ機会とする。また、正面玄関に門松を設置する。

講　師

①アートフラワーのお正月飾り　加納かおる　氏
②わらのお正月飾り　勝瀬昔承会
③門松飾りの設置　勝瀬昔承会

参加費（材料代）

①アートフラワーのお正月飾り　２，０００円
②わらのお正月飾り　１，５００円

成　果

アンケートから

- 市販品とは違ったものが良かった。
- 昨年参加して気に入ったものができ、正月飾りとして玄関が見栄えたため、今年も来ました。良いものが出来ました。来年も期待します。
- 自分で縄から作って難しかったけれど作り甲斐がありました。鶴とか、色々用意していただきありがとうございます。
- 毎年参加しているので、ここに来ないと年が越せない気分です。
- アートフラワーの材料が素敵でかわいらしくできました。講師の先生のお話が分かりやすく、楽しく作れました。

問題点と課題

材料として使用する「稲わら」は事前の準備が必要であり、また、「わらない」などの技法も同様に伝統的な農業習慣の中で培われたものであるため、地域の農家さんの協力なくして取り組むことができない。

食文化講座「食べていい友」

開催日時

①中 華 料 理　令和７年１０月２５日（土）午後１時～3時３０分
②そ ば 打 ち　令和７年１１月２０日（木）午前 10 時～１２時
③イタリア料理　令和７年１２月２０日（土）午後１時～3時３０分
④味 噌 作 り　令和８年２月１８日（水）午前 10 時～１２時

対象及び参加者数

対象：成人
参加人数：①１１人　②１２人　③１２人　④２０人

事業概要

食を通して、様々な食文化に親しみながら住民交流を進める。

講　師

①中 華 料 理　吉川　浩氏（恵愛病院中国料理料理長）
②そ ば 打 ち　押田　一氏（富士見市市民人材バンク）
③イタリア料理　東海林　泉 氏（イタリア料理研究家）
④味 噌 作 り　地域活動栄養士ＰＦＣの会

参加費（材料代）

①中国料理　１，５００円　②そば打ち　５００円
③イタリア料理　２，０００円　④味噌作り　２，０００円

成　果

アンケートから

- 中華料理の調理実習は初めてで、とても興味ありました。家でできる中華で、味も良く大満足でした。丁寧な下処理で美味しさが違うことを体験できました。
- そば粉から打って、伸ばして、切って、出来上がりをみて感激しました。
- 先生の話を聞いて、すごくイタリアに興味がわきました。
- 今回のイタリア料理は、味や見た目はゴージャスなのに調理は簡単で、家でも再現しやすそうでよかったです。ワインも試飲できてうれしかったです！
- 味噌作りは、先人の知恵を学ぶことが出来ました。容器を焼酎で消毒すること、最後にワサビでふたをすることは知らなかったので、とてもおもしろかったです。同じテーブルの人と交流ができ楽しかったです。

問題点と課題

物価が高騰する中、講師には材料の仕入れなど、工夫をして頂き、参加費を抑えることができた。

趣味・芸能講座「講談・浪曲」

開催日時

①神田織音講談会　令和７年７月５日（土）午後２時～３時３０分
②年忘れ講談会　　令和７年１２月２１日（日）午後２時～３時３０分
③新春浪曲一番　　令和８年２月１日（日）午後２時～３時３０分

対象及び参加人数

対象：成人
参加人数：①113 人　②93 人　③111 人

事業概要

各回とも２席を演じてもらい、広く大衆芸能を堪能する機会とした。
演者：①講談師 神田織音（真打）
②講談師 神田伊織（二つ目）
③浪曲師 玉川奈々福（真打）、曲師 沢村まみ
演目：①狩野芳崖・仁王捉鬼図、森鴎外・ぢいさんばあさん
②赤穂義士伝、玉川上水の由来
③浪曲百人一首・恋歌編、仙台の鬼夫婦

成　果

長年続けてきている講談会だが、土・日曜に開催してから、より多くの方の来場があり、講談に親しむ機会が拡充した。また、令和７年度から新たに浪曲にも目を向けて、広く話芸に親しむ機会を持つことができた。

アンケートから
・祖父とラジオで聞いた浪曲とイメージが違った
・日本語を淀みなくあやつる話芸の極みに感服しました。
・初めての人にもわかりやすく楽しかったです。ブラボーです!!
・期待をしていたよりずーっとよかった。はじめての講談でした。

問題点と課題

令和７年度から浪曲も含め年３回の開催となった。事前申し込み制としているが、定員を超える申し込みがある一方、当日キャンセルも多い。

演者が同じでも、毎回異なる演目に注目して、何度来ても新しい発見や感動が味わえるものを目指したい。

音楽でいい友

開催日時

①ラテンジャズ&フュージョン
令和７年１０月１９日（日）午後２時～３時 30 分

②ジャズとポップスの午後
令和７年１１月２４日（月・振休）午後２時～３時 30 分

③クラシックレクチャー・コンサート
令和７年１２月７日（日）午後２時～３時 30 分

対象及び参加者数

対象：成人

参加人数：①７１人　②１０３人　③４６人

事業概要

ポピュラー、ジャズ、ラテン、クラシックなど様々なジャンルの音楽を通して、音楽文化に親しみながら交流を進める。

① 出演者　SR ジャズ倶楽部
演奏曲目　ナイト・バーズ、フィービーズ・サンバほか

② 出演者　はなジャズトリオ、プチ・カドゥ
演奏曲目　アーリー・オータム、テネシー・ワルツ、青春の輝きほか

③出演者　アンサンブル凛（弦楽アンサンブル）
演奏曲目　中田喜直／小さい秋見つけた、夏の思い出
チャイコフスキー／弦楽セレナーデより第２楽章ワルツほか

成　果

①は、シリーズ定番のパワー感に満ちたバンド演奏

②は、この日のために編成されたユニット、１部はジャズボーカルのトリオ、２部はクラリネット、ギター、ピアノ、ドラムの器楽演奏。聴きなれた曲目が多く楽しんでいただけたと思う。

③も定番だが、今回は日本の歌曲も取り入れて、より親しみの持てる内容となっている。

アンケートから

・音楽はいいですね。心を Open にしてくれる。曲によりいろいろなことを思い出しました。地域の方の演奏、歌なので身近に思えてよかったです。

問題点と課題

いずれもアマチュアの演奏ではあるが、演奏経験も豊富で楽しみがいのある演奏会となっている。大きな問題・課題もなく、このまま継続したい。

勝瀬の七夕まつり

開催日時

①七夕飾りの再現　　令和７年８月１日（金）～８月７日（木）
②親子でうどんづくり　令和７年８月２日（土）午前１０時～１２時
③七夕マジックショー　令和７年８月４日（月）午前１０時３０分～１１時 30 分
④キッズキッチン「食パンでミニピザ＆ラスク」
　令和７年８月５日（火）午前１０時～１２時
⑤天然石とクリスタルのネックレスと虹色チャーム
　令和７年８月６日（水）午前１０時～１２時
⑥キッズキッチン「七夕クッキー」 令和７年８月７日（木）午前１０時～１２時

対象及び参加者数

対象：小学生、親子、成人
参加者数：①ー　②12 組　③107 人　④１５人　⑤２５人　⑥１６人

事業概要

勝瀬地域に伝わる「勝瀬の七夕まつり」を地域の伝統行事として学び・体験することで地域に対する理解・親しみを深める。また、夏休み中、子どもたちの思い出に残る体験の場として位置づけて開催する。

講　師

①七夕飾りの再現　勝瀬昔承会
②親子でうどんづくり　押田　一氏（富士見市市民人材バンク）
③七夕マジックショー　富士見マジッククラブ（富士見市市民人材バンク）
④キッズキッチン「食パンでミニピザ＆ラスク」 うふふ kitchen
⑤天然石とクリスタルのネックレスと虹色チャーム　小杉　紗智子氏（富士見市市民人材バンク）
⑥キッズキッチン「七夕クッキー」　地域活動栄養士 PFC の会

成　果

家庭で行うことが少なくなった行事の体験や地域の伝統文化にふれる良い機会となっている。地域の習わしでうどんを打つことや、料理や工作、マジックショーなどを通じ、日頃交流することが少ない異年齢の子どもや地域の大人たちと、楽しみながら交流することができた。

問題点と課題

たくさんの応募があり、回によっては参加できない子どもがいた。多くの子どもたちに参加してもらえるよう、抽選方法や開催回数等について検討していく。

生涯学習事業・青少年対象事業

小学生お菓子づくり教室

開催日時

令和８年2月7日（土）午前１０時～１２時、午後２時～4 時

対象及び参加者数

対象：小学生

参加人数：42 人

事業概要

子どもたちに人気のお菓子づくり体験として企画。

講　師

中島美由紀氏（スウィーツ・スペシャリスト）

内　容

バレンタインデーに向けて手作りスウィーツ（チョコチップ・マフィン）にチャレンジした。

成　果

アンケートから

・おいしくて楽しかった。
・これで料理がうまくなれます。
・家族にプレゼントできそうでよかったです。なかなか家でおかしをつくれないので、つくれてよかったです。おいしいのつくれました。
・同じテーブルについた他の小学校のひとつ年上の友だちができて、良かったと思いました。
・チョコチップマフィンを作るのは、少し難しかったけれど、うまく作れたのが良かったです。
・先生の説明が詳しくて失敗せずにできた。結果はとてもおいしいカップケーキ（マフィン）ができて楽しかった。
・子どもの成長を感じました。
・講師がしっかりされていて、簡単にお菓子作りができ、子どももあきることなく楽しめた。あと、美味しかった。
・子どもでも作れるお菓子作りで良かった。お菓子作りの経験をさせたかったので良かった。

問題点と課題

当初午前中 1 回の予定だったが、応募が多く午後に 2 回目を実施した。人気のある講座ということが分かったので、今後実施する際は、あらかじめ回数や募集人数を増やす検討をする。

ふじみ野じゅく

開催日

令和７年４月１８日（金）～令和８年３月２１日（金・祝）午前 10 時～12 時
毎月第３金曜日全１１回

対象及び参加者数

対象：成人
参加人数：延べ 340 人

事業概要

年間をとおして共に学び合い、交流を深めることを目的に開催。

日程及び内容

日　程	内　　容
４月 18 日(金)	開講・動画で見る富士見の郷土芸能～伝承される“神への祈り”～ (講師：富士見市難波田城資料館)
５月 16 日(金)	山室・勝瀬の巨木と史跡めぐり (講師：埼玉県生態系保護協会富士見支部)
６月 20 日(金)	薬のしくみと働き(講師：ふじみ野じゅく生)
７月 11 日(金)	旅行のはなし（講師：トラベルネット株式会社）
９月 19 日(金)	長寿期のリスクと支援（講師：富士見市社会福祉協議会）
10 月 17 日(金)	チェアヨガ（講師：富士見市市民人材バンク）
11 月 21 日(金)	スマホ撮影にも役立つ写真術 （講師：一般社団法人 日本写真講師協会フォトインストラクター）
12 月 19 日(金)	救急講話と音楽コンサート（講師：入間東部地区事務組合消防本部）
１月 16 日(金)	大人のための科学講座（講師：仮説実験授業研究会）
２月 20 日(金)	市の情報発信をお伝えします。広報富士見・市ホームページなど (講師：富士見市秘書広報課)
３月 20 日(金・祝)	閉講「本の世界を膝栗毛」パート２（講師：ふじみ野じゅく生)

成　果

運営会議では、参加者アンケートなどを参考に活発な意見が交わされ、年間計画を企てることができた。今後も参加者のニーズにあった講座の開催をしていきたい。

問題点と課題

回によっては、定員割れをすることもあるので、より PR に努めたい。

勝瀬の十五夜・十三夜、小正月

開催日時

十五夜　令和７年１０月１日（水）～１０月６日（月）
十三夜　令和7年１０月２９日（水）～１１月2日（日）
小正月　令和8年2月１０日（火）～2月１５日（日）

対象

小学生、親子、成人

事業概要

旧暦８月１５日に行われる「十五夜」、旧暦９月１３日～１４日に行われる「十三夜」は、月を愛でながら団子や収穫物を供えて、実りに感謝する行事である。

「小正月」は、旧正月に、五穀豊穣や商売繁盛を祈願して行われた「まゆ玉飾り」を再現している。

まゆ玉は、米粉で団子を丸めたり、芋や繭になぞらえて楕円形にしたものを作り、木の枝に刺したもの。

事業協力者

勝瀬昔承会

成　果

かつて農村社会で行われていた季節の節目ごとの行事を再現して、地域の伝統文化にふれる良い機会となっている。足を止めてじっくり見ている来館者も多く、施設内のホッとできるスペースとして、今後も継続していきたい。

問題点と課題

供物や団子づくりなど、地域の方の協力なくしては成り立たない。新たな協力者の発掘に、引き続き努めていく。

第２７回勝瀬ｄｅ縁日

開催日時　令和７年９月１３日（土）午前１１時～午後３時

会　場　ふじみ野交流センター全館

対象及び参加人数

対象：勝瀬・ふじみ野地域の住民

参加人数：約１，０００人

事業概要

目的：勝瀬・ふじみ野地域の住民交流と子どもたちのふるさとづくり

主催：第２７回勝瀬 de 縁日実行委員会（参加団体 １５団体・協力団体４団体）

内　容

・遊び：ペットボトルボーリング、輪投げ、昔遊び、ヨーヨー釣り、おはなし会など
・模擬店：焼きそば、綿菓子、冷やしうどん、ジュース、手作り小物、フランクフルト、プリン・焼き菓子など
・舞台発表：ふじみ野保育園寄席太鼓、ふじみ野小学校歌声リーダー、勝瀬小学校ダンスクラブ、和踊り
・勝瀬中学校部活動参加：美術部、科学部、囲碁・将棋クラブ
・ふわっぴー撮影コーナー、笑顔の写真展

成　果

屋外から館内開催へと変えて数年たつが、猛暑や急な天候不良に悩まされることなく、安定した取り組み内容で開催することができた。

地域の小中学校の参加、特に勝瀬中学校の協力で、生徒がスタッフとして積極的に参加し、盛り上がりを見せた。

問題点と課題

人の流れがスムーズになるような会場配置や、時間配分を工夫する必要がある。

第２４回ふじみ野文化祭

開催日時

令和８年２月２８日（土）午前１０時～午後４時（舞台・模擬店は午前１１時開始）
令和８年３月１日（日）午前１０時～午後４時

会　場

ふじみ野交流センター全館

対象及び参加人数

対象：市民及び地域住民
参加人数：約 1,200 人

事業概要

利用者及び地域住民の生涯学習活動における日ごろの成果を発表する機会の提供、相互交流を目的として開催。

主催及び参加団体（者）

第２４回ふじみ野文化祭実行委員会　４９団体（者）

内　容

- 作品展示：絵手紙、折り紙、竹細工、パッチワーク、書道、水墨画、陶芸、篆刻、扇だこ、写真、カルトナージュ、切り絵、保育園児のお面、保育園児の立体的自画像、市民人材バンク活動紹介
- 舞台発表：バンド演奏、和太鼓、小学生合唱、小学生ダンス、篠笛、コーラス、器楽演奏、三線、アラブ舞踊、太極拳、詩吟、合唱、多言語交流、英語スピーチ、知的書評合戦「ビブリオバトル」、リコーダー、フラダンス、民謡、吹奏楽
- 模擬店：バインミー(ベトナム風サンドイッチ)、焼きだんご、鶏五目おこわ、焼きそば、焼き菓子など
- その他：お茶席、地域健康相談、紙芝居の読み聞かせと魔法のステッキづくり、押し花マグネットづくり、魚釣りあそび、メンコあそびなど

成　果

参加団体同士のロコミなどで、初参加の団体が４団体、個人が４人増えた。新たな活動発表は来館者を楽しませ、また、参加団体にとっても良い刺激となっている。令和７年度も「体験」コーナーで作品を作ったことをきっかけにサークルの入会につながったケースがみられた。

問題点と課題

舞台発表がスムーズに進むよう、時間割や進行方法の検討が必要。

広報紙発行

事業概要

紙　　名　「ふじみ野ＥＸＰＲＥＳＳ」（ふじみ野エクスプレス）
体　　裁　Ａ４版、白黒両面刷
発行部数　月 20,005 部
発行回数　年１０回
配布形態　「鶴瀬公民館だより」に挟み込み、同紙配布地域に配布

主な記事内容

①ピックアップふじみ野
４月１日号　　私とこのまち
５月１日号　　私とこのまち
６月１日号　　私とこのまち
７月１日号　　私とこのまち
９月１日号　　第２７回勝瀬ｄｅ縁日
１０月１日号　　私とこのまち
１１月１日号　　私とこのまち・稲刈り
１２月１日号　　私とこのまち・民謡
１月１日号　　私とこのまち・正月料理
３月１日号　　第２４回ふじみ野文化祭

②ふじみ野交流センターの各種事業案内及び施設案内、ピアザふじみの施設案内

成　果

令和７年度は地域にお住いの方々の仕事や趣味、地域での活動などを紹介した。代々この地に暮らしてきた方々、転入や定年後住まいを構えた方など、それぞれの人生の一辺を照らすことができたと思う。

問題点と課題

地域を意識した記事と施設情報を、限られた紙面の中で効率的かつ有用な情報提供をするためには、日常的な情報収集が欠かせないことから、様々な場面で住民とのコミュニケーションを図る必要を感じている。常にアンテナを高くし、掲載内容や寄稿者について考えておく必要がある。

「ふじみ野ＥＸＰＲＥＳＳ」バックナンバーはこちらからご覧いただけます。

富士見市ホームページ　トップページ→窓口・施設案内→生涯学習施設・集会所→交流センター・コミュニティセンター・サンライトホール→ふじみ野交流センター→ふじみ野エクスプレス

複合施設安全管理

開催日時　通年

対　象　利用者、園児、職員（保育園、図書館ふじみ野分館、交流センター）

事業概要　ふじみ野交流センターは、生涯学習施設、保育園、図書館分館の複合施設であるが、施設運営が別となっている。建物の安全管理や合理的な施設維持管理の面では、施設同士が連携をとりながら一体的な管理・運営を進める。

１　防災・防犯対策の連携

①防火管理委員会の開催

適正な管理・運営を図るため年１回の連絡調整会議を開催した。

②合同自衛消防訓練の開催

３つの施設が連携して年２回合同訓練を行った。

１回目：令和７年７月１０日（木）午前１０時～１０時 45 分

２回目：令和８年２月４日（水）午前１０時～１０時 45 分

参加者：園児、職員　約１３０人

２　消防設備等の維持管理

館内点検等の際、消火器や消火栓設備の状態を把握するとともに、非常時の操作等についても習熟に努める。

成　果

合同消防訓練等の開催や施設間の情報交換により、防災、防犯に対する意識を高めることができた。水消火器の訓練や、来館者の避難訓練への参加も実施することができた。

問題点と課題

複合施設であり、施設ごとに職員の身分（市職員、指定管理者、法人職員）や勤務時間等が異なることから、互いに連携し、休日や夜間の安全管理を徹底しなければならない。職員はもとより、夜間・休日の管理委託職員への防災・安全教育を継続していく必要がある。

施設提供事業

開催日時　通年

対　象　施設利用者、市民

事業概要　より利用しやすい施設運営を目指して、利用者の意見・要望を活かし、施設の有効活用を進める。

①ふじみ野ギャラリー

ギャラリーにある大小展示ケースとパネルの団体や個人への貸出し。

陶芸、切り絵、パッチワーク、写真、折り紙、凧絵、美人画、など１カ月ごとに飾られた。生涯学習活動の発表の場として、また来館者の目を楽しませる場として活用することができた。

また、七夕飾り、十三夜・十五夜のお供え、クリスマスツリー、まゆ玉飾りなど季節行事の展示にも活用している。

②多世代交流コーナー

個人が自由に利用できるよう常時開放している。子どもから高齢者まで幅広い層の住民・利用者の「居場所」になっている。

③グリーンボランティア

建物周囲の花壇やプランターを市民ボランティアが管理。年２回の植え替えと低木の剪定をし、合間を見ては雑草取りなどを行った。

成　果

サークルや個人の方々に協力を頂き、工夫をしながら自由な活動の場として施設の有効活用ができた。施設を訪れた方に気持ちよく利用していただくことができた。

問題点と課題

今後も、より利用しやすい施設運営を目指したい。

ふじみ野交流センター利用案内

令和８年４月１日改定

利用にあたって

ふじみ野交流センターは、生涯学習と地域づくりの場として設置されています。

この設置目的に当てはまる活動を行い、富士見市内に在住・在勤・在学（以下「市内」という）の会員が半数以上いる団体（市内目的内団体）及び目的内の活動を行う市内の個人は、普通料金で利用できます。また、目的外利用（注 1）や市外の団体・企業などは、使用料が４倍となります。

注１：目的外利用：営利事業者や政党・政治団体等の内部会議・研修会など（営利や宣伝活動を伴わないもの）。

注２：施設利用ができない場合【利用不許可】

①専ら営利を目的とするもの

②特定の宗教または特定の教派、宗派、教団を支持しようとする目的のとき

使用料の免除

市内目的内団体に該当し、かつ公共用または公益の目的で利用する場合は、「使用料免除団体」として登録ができ、使用料が免除になります。免除の基準は以下のとおりです。

①町会（自治会）、自主防災組織がその事業や会議等で利用するとき
②福祉ボランティア、福祉団体等が福祉活動で利用するとき
③学校教育に係る団体がその事業や会議等で利用するとき
④子育て支援団体、青少年の健全育成活動団体がその目的で利用するとき
⑤老人クラブ、高齢者の介護予防活動団体等が利用するとき
⑥非営利の社会貢献団体等が利用するとき

富士見市公共施設予約システム

富士見市公共施設予約システムとは、インターネットに接続したパソコンや携帯電話、施設に設置した専用端末から、施設の空き状況の照会や予約の申込みなどができるサービスです。

システムの利用については、あらかじめ施設窓口で利用登録の申請が必要です。登録すると登録番号（利用者番号）と暗証番号（パスワード）が発行され、予約等の機能が利用可能になります。

※予約システムに登録できるのは、市内目的内団体、市内個人、使用料免除団体、目的外団体、市外団体です。市外の個人は登録できません。

利用登録について

１　公共施設予約システム利用登録

所定の様式に記入し、平日の午前９時から午後５時１５分までの間に窓口に提出してください。その際、代表者または実際に窓口に来た代理人の本人確認をいたします（運転免許証など、氏名・住所の確認ができるものをご用意ください）。

書類受け取り後、審査を経て、５日（休日を除く）以内に ID を記載した利用登録決定通知書を交付します（窓口でのお引き渡しとなります）。

ID（利用者番号）は公の施設グループ共通のものとなります。

※公の施設グループ：交流センター、公民館、コミュニティセンター、南畑ふれあいプラザ、いずれかの施設で登録手続きができ、相互に利用可能です。

また、ピアザふじみ、キラリふじみ、市民総合体育館、パレットなどは別グループとなり、それぞれ登録手続きが必要です。（ピアザふじみだけが、公の施設グループ登録で市内目的内団体及び使用料免除団体の利用が可能です。）

２　使用料免除団体登録

上記１に加えて、使用料免除団体登録申請書を提出していただきます。また、添付書類として団体の前年度の収支決算書・事業報告書、当該年度の収支予算書、事業計画書、会則等が必要になります（これらの事項が記載された総会資料等でも可能です）。

提出時間、提出方法は上記１と同様です。書類審査の上、承認（または不承認）決定通知書を交付します（窓口でのお引き渡しとなります）。

利用の申請

①公共施設予約システムから部屋の空き状況が確認できます。

②公共施設予約システムから希望する日時・部屋の仮予約ができます。

※仮予約の有効期間は、申込日から１５日間です。それを過ぎると利用の意思がないものとみなし自動削除になります。

注：電話による空き状況の照会、仮予約の申し込みは、平日の午前９時から午後５時１５分までの間にお受けします。

③仮予約期間中に、施設の窓口で使用料をお支払いください。

※自己都合によるキャンセルの場合、料金はお返ししません。

※利用日の１日以前に手続すると、当月または翌月への日時や部屋の変更ができます。その際、料金の差額が生じたときは、不足額を追加でお支払いください。また、減額になった場合、減額分は返却しません。

※平日の午前９時から午後５時１５分までの間は、仮予約をせずに窓口で直接申込むこともできます。

◎窓口でのお支払いは平日の午前９時から午後５時１５分までの間に現金または電子マネー・クレジットカード・QR 決済でお受けします。

午後５時１５分を過ぎた夜間または土・日・祝日は、あらかじめ仮予約のあるものについて、窓口の端末か携帯電話等で仮予約内容を提示していただくことで、料金を預かることができます。この場合、領収書と利用決定通知書は後日のお渡しとなります。預かりの受付時間は、平日の午後５時１５分から午後９時、土・日・祝日の午前９時から午後９時となります。

◎予約時に「オンラインクレジット」による支払いを指定すると、窓口に来ることなく決済ができ、自分の端末から領収書を発行できます。

利用申請の申込期間

随時予約

１　市内目的内団体・使用料免除団体

申込日から２カ月後の月末日までの間の利用希望日を仮予約することができます。２カ月先の申込みの開始日は、窓口が毎月５日（注）、公共施設予約システムからの申込みは、その翌日からとなります。

注:５日が土・日・祝日に当たるときは、５日以降の平日となります。

２　市内個人・目的外団体・市外団体または登録のない利用者

申込日から１カ月後の月末日までの間の利用希望日を仮予約することができます。１カ月先の申込みの開始日は、毎月１日（土・日・祝日の時は翌平日）からとなります。

抽選申込　※市内目的内団体・使用料免除団体のみ

利用希望日の属する月の３カ月前の月の１５日から末日までの間に、公共施設予約システムから抽選申込ができます。利用希望日が複数の団体で重複したときは、上記の申込期間の翌月１日にシステム内で抽選が行われ、当落の結果を見ることができます。当選すると仮予約状態になりますので、１５日以内に使用料をお支払いください。

※抽選申込は１団体５件（１件＝１回分の利用）までできます。

変更申請

既に予約済の利用分について、利用日の１日前までに日程等の変更ができます。ただし、利用日の１日前が土・日・祝日、休館日にあたる時は、直前の平日までとなります。

・変更には窓口での申請が必要です。受付時間：平日午前９時から
　午後５時１５分までの間
・変更は原則１回のみとなります。

開館時間・利用時間・休館日

開館時間　午前９時から午後１０時まで

部屋の利用時間　１日を次の３区分にして提供しています。

午前【午前９時から正午】

午後【午後１時から５時】

夜間【午後６時から１０時】

※利用時間には準備・片付けの時間も含みます。

※複数の区分を連続して利用する場合は、間の時間帯も併せて利用できます。

休館日　毎月第３月曜日、１２月２９日から翌年１月３日まで

※その他運営上の必要により臨時休館する場合があります。

使用料

区分 / 施設名	午　前 ９時～正午	午　後 １時～５時	夜　間 ６時～１０時
多目的ホール	１，７００円	２，４００円	２，４００円
視　聴　覚　室	８００円	１，０００円	１，０００円
集　会　室　１	５００円	７００円	７００円
集　会　室　２	３００円	４００円	４００円
和　　室	３００円	４００円	４００円
講　座　室	７００円	１，０００円	１，０００円
美術工芸室	６００円	９００円	９００円
調　理　室	６００円	９００円	９００円

※各区分の時間には、準備や片付けの時間を含みます。

※使用料には各部屋に備え付けの備品類の使用も含まれます。

※連続して利用することのできる期間は３日間までです。

その他の利用

陶芸窯室

電気式の陶芸窯があり、陶芸活動をすることができます。
利用には、事前に講習を受け、利用団体登録が必要です。
陶芸窯の使用料は、電気メーターに基づく電気料金の実費負担です。

市民活動室

市内の団体活動や地域活動の資料作りなどに印刷機を利用できます。料金は原稿版下１枚につき５０円です。印刷用紙はご持参ください。
※個人や営利活動には利用できません。
※楽譜などの著作物を無断で複写すると、著作権の侵害に当たる場合がありますのでご注意ください。

多世代交流コーナー

個人利用が可能なフリースペースです。
複写機があります。コピー料金は１枚１０円です。

プレイルーム

平日の午前９時から午後４時の間、ふじみ野保育園子育て支援センター「にこにこひろば」を開催しています。

１階ギャラリー

写真・絵画や手工芸品など作品展示ができます。展示ケースを含め、
１カ月程度貸し切りで利用できます。

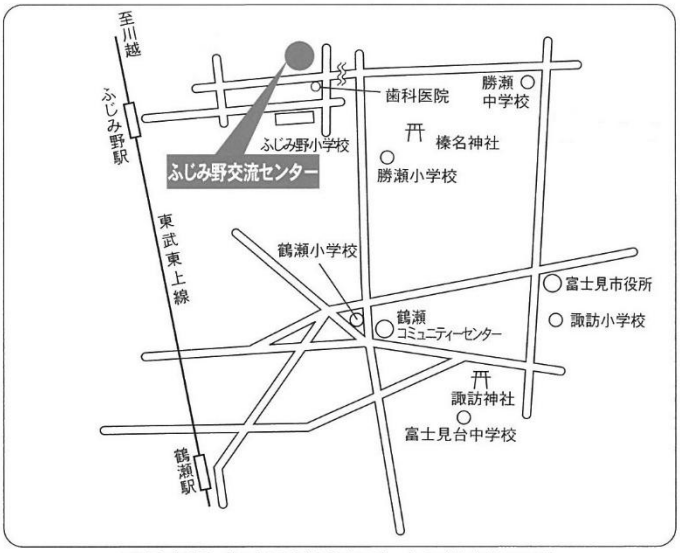
団体ロッカー

利用者の活動支援として専用ロッカーを貸出しします。１年毎に申し込みが必要です。

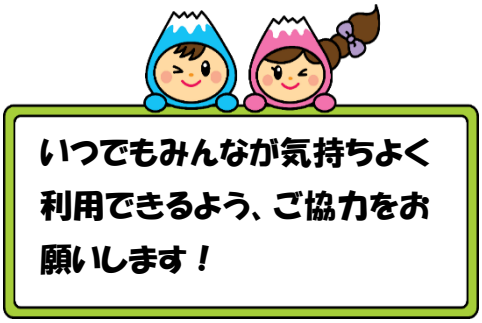
利用のきまり

〇許可を受けた者の権利を他人に譲渡、転貸しないこと。
〇許可または承認を受けた目的以外に施設及び設備等を利用しないこと。
〇施設及び設備等を破損し、または汚損しないこと。万一破損等をしたときは速やかに届け出てください。
〇承認を受けずに印刷物等を掲示し、または配布しないこと。
〇ごみ等の廃棄物は、原則持ち帰ること。
〇火薬類、ガソリンその他危険物を持ち込まないこと。
〇物品の販売、募金その他これに類する行為をしないこと。
〇館内・敷地内はすべて禁煙です。
〇火災や地震など、緊急時は職員の指示に従ってください。
〇使用した机、イス、備品等は元の状態に戻してください。また、各部屋の照明、エアコン、換気扇等のスイッチも切ってください。

不正な手段で利用の許可を得たり、上記のきまりが守られない時は、利用の許可を取り消すことがあります。



※最寄駅（ふじみ野駅東口）から徒歩約10分



〒354-0036　富士見市ふじみ野東３丁目７番地１
電話：049-261-5371　　ＦＡＸ：049-269-5916
メール　fujimino-kouryu@city.fujimi.saitama.jp
開館時間：午前９時～午後１０時
休館日：毎月第３月曜日、年末年始（１２月２９日～１月３日）

富士見市立ふじみ野交流センター　令和７年度事業報告
発　行：富士見市立ふじみ野交流センター
〒354-0036 富士見市ふじみ野東３丁目７番地１
電話０４９－２６１－５３７１
FAX０４９－２６９－５９１６
令和８年９月